

秦野市PTA連絡協議会信条

- 1. 信頼と協調で
- 2. 子どもの健全な成長を
- 3. 充実した家庭に

(昭和48年10月1日制定)



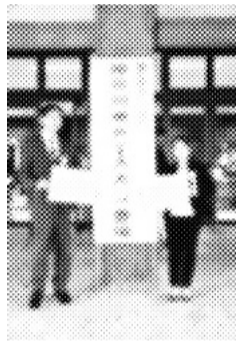
発行 秦野市PTA連絡協議会  
 編集 秦野市PTA連絡協議会  
 情報委員会  
 事務局 秦野市立本町中学校  
 秦野市富士見町1-1  
 TEL 81-0342  
 印刷 (有)みうら印刷

発表校のアイデア輝く

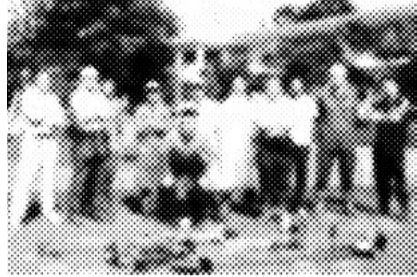
第58回神奈川県PTA大会

11月16日、神奈川県PTA協議会主催の県PTA大会が、小田原市民会館大ホールで開催されました。大会スローガンは、「あなたの意味づけが、PTAの活動を支え、変えていく地域に開く学校の応援団」でした。映画「空飛ぶ金魚と世界のひみつ」の上映後、基調講演では脚本家の栗山宗大氏から、自分らしく生きることの大切さについて話がありました。

県内31校の団体表彰では、秦野市からは渋沢中と鶴巻小のPTAが表彰されました。実践発表では、茅ヶ崎市立茅ヶ崎小学校PTAが、全員参加型の「猫の手システム」や、感謝の気持ちを伝える「晴れの日ボツ」を発表しました。また、県内では、大井町立大井小学校校父母と先生との会は「PTA活動におけるイノベーション」として、活動内容の大幅な見直しを発表しました。「負担が役員に集中しない」「活動内容に変化がない」など、前年度に出た課題点を、工夫して改善できた実例が報告されました。



受賞した渋中と鶴小



お父さんパワーが原動力

上小は、市内で一番歴史のある、児童数81名、教職員数17名、家庭数61世帯の小学校です。PTA総会の出席率は約70%を誇ります。学校と保護者、地域の方が一体となり、活動を盛り上げています。小規模校ならではの結束力が強みです。夏休みには毎年、真鶴町岩海岸で6年生の遠泳教室を開催しています。これは、30年以上も無事故で続けられている恒例行事です。

また、県内ではめずらしい屋根付きの土俵があり、5月に相撲大会が行われます。この大会は、高学年にまわしを着用させる本格的なもので、児童に日本の伝統を伝える機会になっています。上小まつりでの本格的なバウムクーヘンづくりや、児童・会員総出の草刈り、土俵の修復などの様子も、上小のマスコミ「キーボー」と共に紹介されました。先生や保護者、地域の方が一丸となつて、どの活動も笑顔で積極的に取り組んでいる様子が印象的でした。

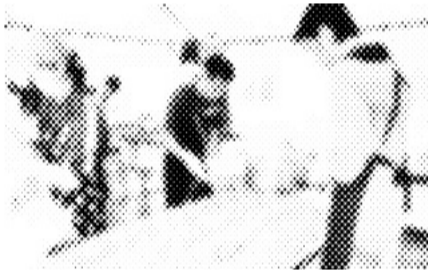
上小学校 スマイルは宝

今年度の秦野市PTA連絡協議会スローガン「笑心(えみ)くいつも笑顔で感謝の気持ち」のもと、地域と共に活動する3校の実践発表がありました。233名が参加し、秦野市出身初の作家・春風亭一左さんの落語を聞きながら、会場は笑顔に包まれていました。

第8回 秦野市PTA大会  
 笑顔でつながる地域の絆  
 1月21日 秦野市文化会館小ホール

本町中学校 一期一笑(いちごいちえ)

28年度に創立70周年を迎えた本町中は、生徒数646名、PTA会員数647名の中学校です。今年度のスローガンは「一期一笑(一期一会)」。全ての人の出会いを笑顔で大切にします。本町中におけるPTA活動の中でも最大の行事は、毎年10月に開催されるPTA祭です。ふれあいバザーや模擬店など、たくさん催し物で賑わいました。バザーでは校長先生手作りの「松ぼっくりクリスマスツリー」も販売されました。

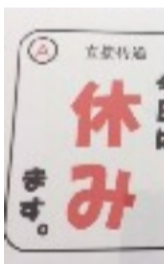


焼きそば作りに奮闘

また、11月には社会見学で千葉県の横井醸造を訪れました。3月には卒業する3年生のために、学年委員が「未来鍋(豚)

数年前から登校時の信号待ちや、校門周辺での混雑が問題となっていました。そこで、朝の出発時刻を登校班ごとに調整したところ、狭い通学路や校門周辺の混雑緩和を實現。危険を回避した成果がデータを使って報告されると、会場から驚きの声が上がりました。鶴巻小には、多国籍の児童が多く住んでいる地区があります。そこで保護者との意思疎通を円滑

にするため、通学の約束事を6カ国語に翻訳した連絡カードを配布しています。特徴的な独自の工夫が感じられました。



中国語版の連絡カード

鶴巻小の児童数は821名で、市内で2番目に児童の多い小学校です。「変える・広げる・親しく」を合言葉に、PTA活動をすすめています。活動をスリム化し、運営委員会の日数を削減しました。はばたき祭では父親クラブが活躍。親子参加型へ変更した社会見学も好評でした。

ともに生きる社会の実現めざして ~ インクルーシブ教育とは ~

1月28日、伊勢原市青少年センターで、中ブロック会議が開かれました。神奈川県教育委員会教育局インクルーシブ教育推進課の基調講演で、参加者57名がインクルーシブ教育について学びました。インクルーシブ教育とは、障がいのあるなしにかかわらず、すべての子どもができるだけ同じ場で、共に学び共に育つことを目指す教育のことです。支援を必要とする子どもが、普通級と支援級を行き来して学べる教育体制があります。これはインクルーシブ教育の第一歩と言えるでしょう。

県の取り組みでは、知的障がいのある生徒も県立高校で教育を受けられるように、推進校3校を指定し、この4月から受け入れを始めます。ともに生きる社会の実現には「相互理解で得られる、人としての学びこそが大切ではないか」との話が心に残りました。互いの個性を尊重し認め合う、思いやりの心が大事だと感じました。

3Rでゴミを減らそう 視察研修会 ~はだのクリーンセンター見学~

12月6日、情報委員と市P連役員の計21名が、弘法山の入り口にある、はだのクリーンセンターを視察研修で訪れました。平成25年に完成したこの施設は、秦野市と伊勢原市から出る可燃ごみを、24時間体制で大量に焼却処理しています。収集車が集めたごみは、深さ17mの「ごみピット」へ次々と投入され、巨大なクレーンで焼却炉に運ばれます。2台の燃焼炉にはそれぞれ1日200トンの処理能力があり、850℃の高温焼却で、臭いも熱分解されるそうです。焼却時の熱エネルギーは、施設内での蒸気タービン発電や、電力会社への売電などに有効利用されています。今年の9月には、その余熱を利用した温浴施設がオープンする予定です。また見学では、ごみを減らすためのキーワード「3R」(Reduce=ごみを減らす・Reuse=再利用・Recycle=再生利用)についての説明がありました。私たちの生活にはどのように生かせるのでしょうか。生ごみは捨てる前の一絞りが減量になります。買い物は必要な分だけを心がけ、ごみの分別の徹底を日々意識していきましょう。



焼却炉のしくみを教わる

「3R」(Reduce=ごみを減らす・Reuse=再利用・Recycle=再生利用)についての説明がありました。私たちの生活にはどのように生かせるのでしょうか。生ごみは捨てる前の一絞りが減量になります。買い物は必要な分だけを心がけ、ごみの分別の徹底を日々意識していきましょう。

傑作ぞろい親子川柳大会

11月19日、秦野市教育委員会主催による第7回親子川柳大会の表彰式が、市役所教育庁舎で行われました。市内小中学生の親子から、1029作品もの応募がありました。

- 【親子川柳大賞(市長賞)】  
ママ床屋 君が最後の お客さん (母)  
すえっ子のぼくだいひょうでありがとう (子)
- 【特別賞(秦野市PTA連絡協議会長賞)】  
大会の 我が子の頑張り 金メダル (母)  
ありがとう 家族の支えは 団体系 (子)

おしらせ 広報紙展示会 平成29年3月15日(水) ~3月26日(日) 本町公民館一階ロビー

# SOSを発信しやすく

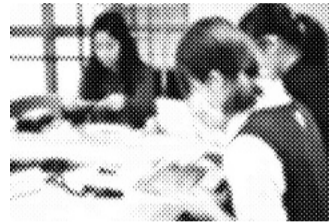
市P連会議・「いじめを考える児童生徒委員会」

11月13日 堀川公民館

今年度開催された第16回秦野市P連会議は「いじめを考える児童生徒委員会」(全4回)の最終回と共催で行いました。148名が一堂に集い、一学期に作成したSOSカードの効果的な利用方法など、大人も交えて真剣に話し合う機会となりました。

## タブレットを使って

子どもたちは午前中から集まり、今回初めて導入されたタブレットの操作方法を学びました。皆すぐに手順をマスターしました。



タブレットで編集中

子どもたちは午前中から集まり、今回初めて導入されたタブレットの操作方法を学びました。皆すぐに手順をマスターしました。その後、係などの担当決めの後、①カードのデザインに込めた思い ②学校全体への呼びかけ方 ③利用状況や今後について ④ど

うすればSOSを発信しやすいか、四つの議題について互いに意見を交わしました。

最後は全体会に戻り、タブレットを操作しながらの発表です。先ほどの議題に対して、①「Sささえる・Oおもいやる・Sしんじる」一人じや

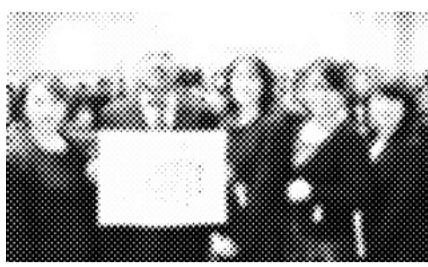


## 日P大会 秦野市P連表彰

### みんなの力が結果に

11月18日、都内ホテルニューオータニで、日本PTA全国協議会表彰式が開催されました。文部科学大臣の松野博一氏が

列席され、参加者は総勢1000名という盛大な式典でした。日Pは、全国のPTA会員約850万人から成る組織です。全国から256団体が選ばれ、昨年度の秦野市P連がそのうちの1団体として、日P全国協議会会長表彰を受けました。



小泉学前会長と市P連のメンバー

27年度市P連会長小泉学氏が、代表として堂々と壇上にあがりました。小泉前会長の言葉「市P連の良きメンバー

たちに出会い、皆で力を合わせて活動できたことが、このような結果につながった。この表彰を誇りに思いながら、来年度以降も恥じないよう頑張りたい」と

ないよ」②「全校朝礼で皆に説明した」③「教室にポスターを掲示する」④「いつでも相談できる環境作りを」

## 伝えあう勇気を

参加した子どもたちからは「今日この場で発言できた勇気を大切にしたい」「もっと大人と話したい。もっと僕たちを見て欲しい」

## 継続に意味あり

この委員会は「はだのこども人権宣言」に基づき、いじめ根絶を目指して平成20年度から毎年続けられています。

大人たちからは「皆で真剣に考えている姿に感動した」「子どもたちのリーダーシップが素晴らしい」といった感想がある一方で、「具体的な事例はまったく話に出なかった」「いじめの実体験は話にくいのでは」との声も。この委員会の目的を周知させて、

いじめの種がまかれたとしても、育ちにくい土壌を作る。その点において、継続すべき意義ある活動だと言えるのではないのでしょうか。

## 編集後記

4月に初めて顔を合わせてから早1年。初めの頃は少し緊張気味でしたが、編集会議を重ねるごとに、貴重な意見交換ができる仲間になりました。この110号の一文一文には、1年間助けあってきた仲間の思いが込められています。素敵な出会い、支えてくれた家族、協力してくださった皆様に感謝し、この経験を宝物にします。

## 1年を振り返って

情報委員長

情報委員会では月1回の委員会、年3回のP連だより発行の他、広報に関する講習会を開催しました。活動や取材を通して得られた情報や経験が、今後のPTA活動や子育てに役立つことを願っています。1年間ご協力をありがとうございました。今後も情報委員会をよろしく願います。



子どもたちを共に支えましょう

## 教育委員会会議の傍聴に行こう!

秦野市教育委員会では、毎月1回、教育庁舎内で定例教育委員会会議(以下、定例会)を開会しています。この会議を傍聴できることをご存じでしたか?

情報委員は11月と12月の定例会を傍聴しました。定員は原則として毎回12名まで。超えた場合は抽選となります。

定例会は通常、教育委員5名と市の職員で行われ、予定された議題に沿ってそれぞれの立場から報告や検証が行われます。傍聴の中で、一つの議題に対する今後の方針がどのように決定していくのかを聞くことができます。

定例会では、子どものいる親にとって大変身近な議題が取り上げられます。私たちが傍聴した時も、いじめや不登校問題、小学校の改修工事の予算、学習意欲や学力向上への取り組みなど、多岐に渡っていました。

傍聴は「子育て」や「教育」とは何かを新たに見直すよききっかけになり、教育委員会を身近に感じることができるでしょう。皆さんもぜひ一度、足を運んでみませんか。

No.11 情報委員会 だより

## 聞いてみよう 教育委員会

教育委員会ってどんなところ?何をしているの?身近なようで遠い存在、秦野市教育委員会を1月13日に取材し、教育長にお話をうかがってきました。

教育長プロフィール: 昭和49年秦野市役所入庁。社会教育課・秘書課などを経て、平成23年に教育長就任。

Q1 教育委員会とは日頃どのような活動をしていますか。

A 幼・小・中学校の教育に関するありとあらゆることに対応しています。生涯学習や図書館・美術館の事業も含まれ、相談業務や教員向け研修の企画なども行います。

Q2 教育長が考える教育の理想についてお聞かせください。

A 自分が子どものころ先生や近所の人から、甘味料と雪と塩でアイスを作る方法など、びっくりすることをたくさん教わりました。今の時代でも「先生の授業は本当におもしろい」と言われるような、感動・感激する生きた教育を目指すよう伝えています。

Q3 不登校問題に、家庭・学校・地域・行政の四輪駆動で対処していくという方法について、具体的にお願いします。

A 教育を学校だけでやろうとするのは無理。家庭と学校が前輪なら、地域と行政は後輪です。少子化ですが、不登校になったり支援級に通う子は増えている。学校に行けない子のために、市の教育支援教室もあります。地域の協力を得られる場合は力を借りて、子どもたちを見守る必要があります。

Q4 どのようなときに教育委員会に相談すればいいのでしょうか。保護者に伝えておきたいことはありますか。

A 何か困ったときは学校の先生に、または直接教育委員会に相談していただいても構いません。学校で何か問題が起きれば必ずこちらに報告が上がってきます。担任だけで無理なら学年で、学年でも難しければ学校でとチームで考えるようにしています。すべてにおいて、問題を一人で抱え込まないことが大事ですね。



教育への思いは尽きず

Q5 最後に、教育長の最近の動向・趣味・素顔について教えてください。

A 土日が休めるのは一年のうち何日あるかな、という感じです。それでも少し時間があれば、趣味の陶芸を楽しんでいます。最近生まれた孫娘にも癒されていますね。

【編集委員】 □□□□(上小) □□□□(渋沢小)

□□□□(北中)

□□□□(南が丘中)

□□□□(末広小)

□□□□(鶴巻中)

□□□□(南小)